

インテル[®] Xeon Phi[™] コプロセッサカード ご使用の前に

コプロセッサカード Intel[®] Xeon Phi[™]

インテル® Xeon Phi™ コプロセッサカード ご使用前に

クイックインストールガイド
Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 用

バージョン	日付	説明
1.1	2013年4月2日	初回リリース版
1.3	2013年9月10日	アップデート版

目次

1. 本書について	4
2. サポートされる構成	5
2.1. リリースされているハードウェア	5
2.2. 必要なファームウェア	5
2.3. 必要な BIOS バージョン	5
3. BIOS 設定の変更	6
3.1. BIOS セットアップの開始	6
3.2. 適切なメニューの選択	6
3.3. 関連するエントリの値の変更	7
3.4. 変更の確認	8
4. 終了手順	8

1. 本書について

本書では、Intel® Xeon Phi™コプロセッサカードを使用する前に行う必要のある変更について説明します。本書は以下で入手できます。

1. PRIMERGY サーバに付属の ServerView Suite DVD 2 に収録されています。
2. オンラインで以下の Web サイトから入手できます。
 - <http://manuals.ts.fujitsu.com> (EMEA 市場向け)
 - <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/> (日本市場向け)

アクセラレータカードの取り付けについては、個別のサーバの『アップグレード&メンテナンスマニュアル』（上記 Web サイトから入手できます）に記載されています。



製造メーカーのマニュアル（英文）は、以下の Web サイトから入手できます。

- [Intel® Xeon Phi™ Product Family Performance Brief](#)
- [Intel® Xeon Phi™ Coprocessors technical documents](#)
- [Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 3120P key specifications](#)
- [Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 5110P key specifications](#)
- [Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 7120P key specifications](#)
- [Intel® Developer Zeon: Intel® Xeon Phi™ Coprocessor](#)
- www.intel.com/xeonphi

最新のドライバおよびファームウェアのバージョンは、Fujitsu サポート Web ページから取得できます。

- <http://ts.fujitsu.com/support/> (EMEA 市場向け)
- <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/> (日本市場向け)

2. サポートされる構成

2.1. リリースされているハードウェア

以下の PRIMERGYサーバはコプロセッサカードをサポートします。

- CX270 S2
- TX300 S7/S8
- RX350 S7/S8

以下のコプロセッサカードは、上記の PRIMERGY サーバに取り付けることができます。

- Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 3120P
- Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 5110P
- Intel® Xeon Phi™ Coprocessor 7120P

2.2. 必要なファームウェア



弊社は、ファームウェアアップデートによって生じるサーバへの破損またはデータ損失について責任を負いません。

PRIMERGY TX300 S7/RX350 S7サーバの場合のみ：



Intel® Xeon Phi™ コプロセッサカード を取り付ける**前に**、各サーバのiRMC ファームウェアの次のリリース（またはそれ以降）をインストールする必要があります：
iRMC FW 6.55 SDR 3.23（必須）

2.3. 必要な BIOS バージョン

PRIMERGY TX300 S7/RX350 S7サーバの場合のみ：



各サーバの BIOS バージョンは、V1.19 以降である必要があります。

3. BIOS 設定の変更

本章では、Intel® Xeon Phi™ コプロセッサカードの BIOS の変更方法について説明します。コプロセッサカードをサーバ搭載時には必ずBIOS設定の変更が必要になります。



CX270 S2 の場合に、次の手順は必要ありません。

3.1. BIOS セットアップの開始

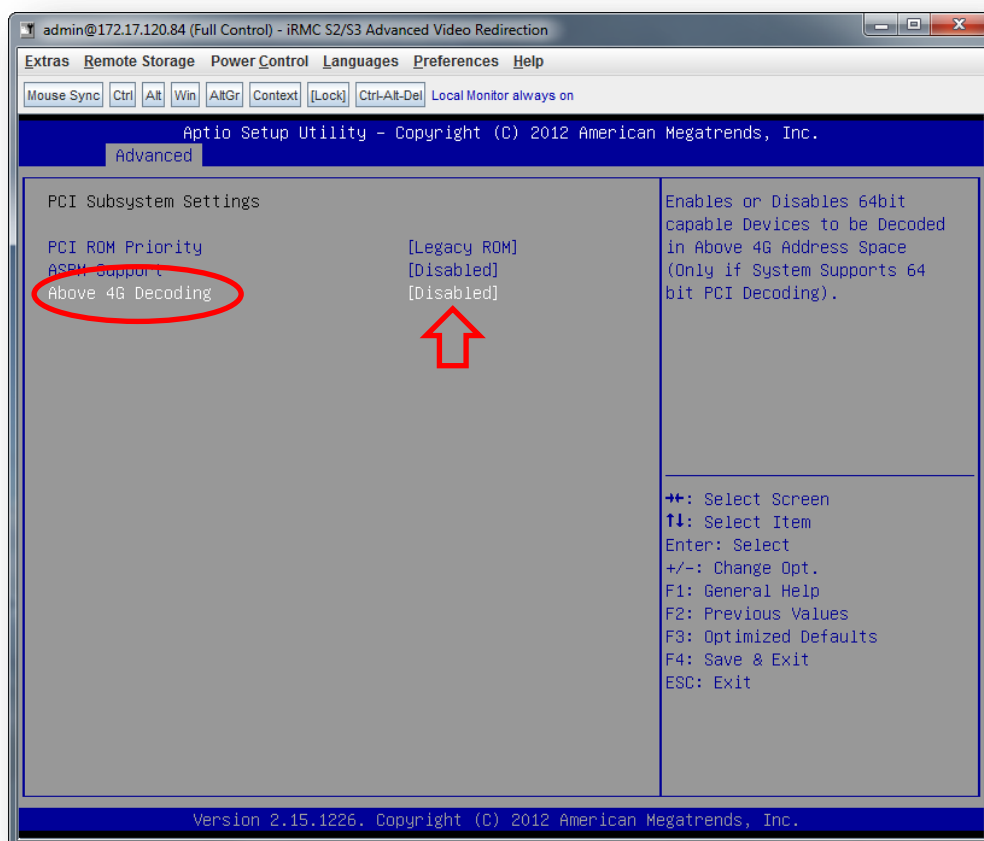


すべての手順はルートユーザとして実行します。

- BIOS セットアップを開始します。

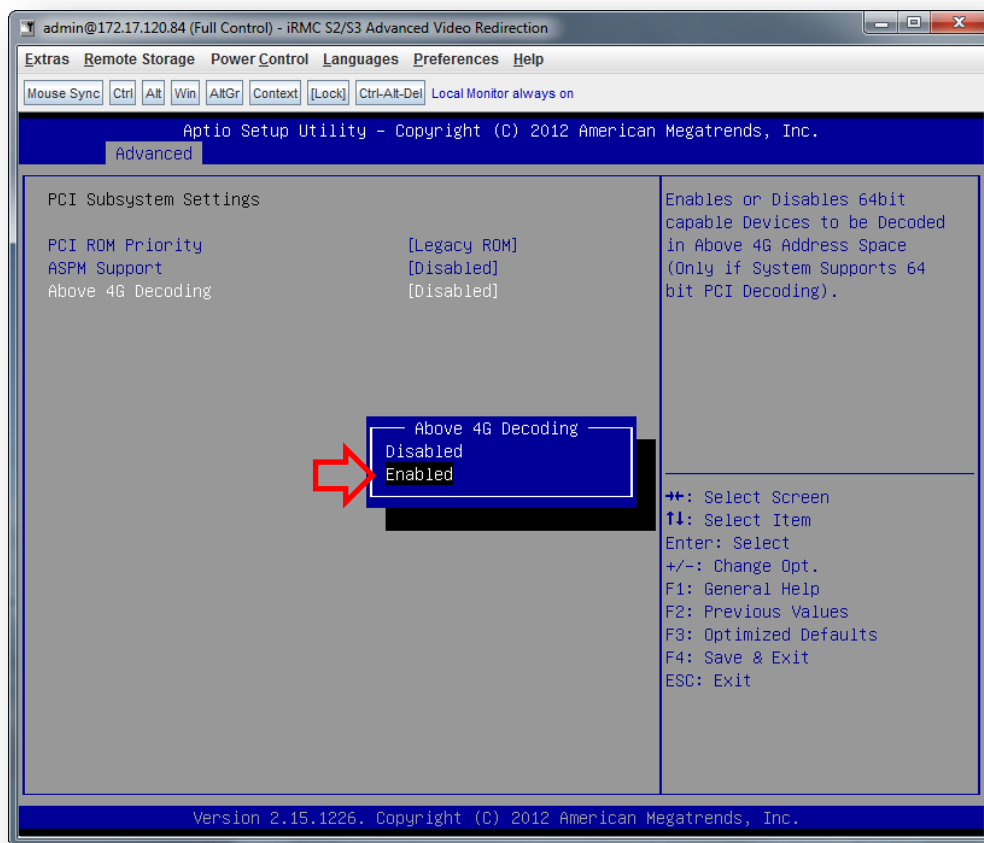
3.2. 適切なメニューの選択

- 「Advanced」メニューを選択します。
- 次に「PCI Subsystem Settings」を選択します。



- 「Above 4G Decoding」エントリを選択します（円で囲んだ部分を参照）。デフォルト値は「Disabled」です（矢印の部分を参照）。

3.3. 関連するエントリの値の変更

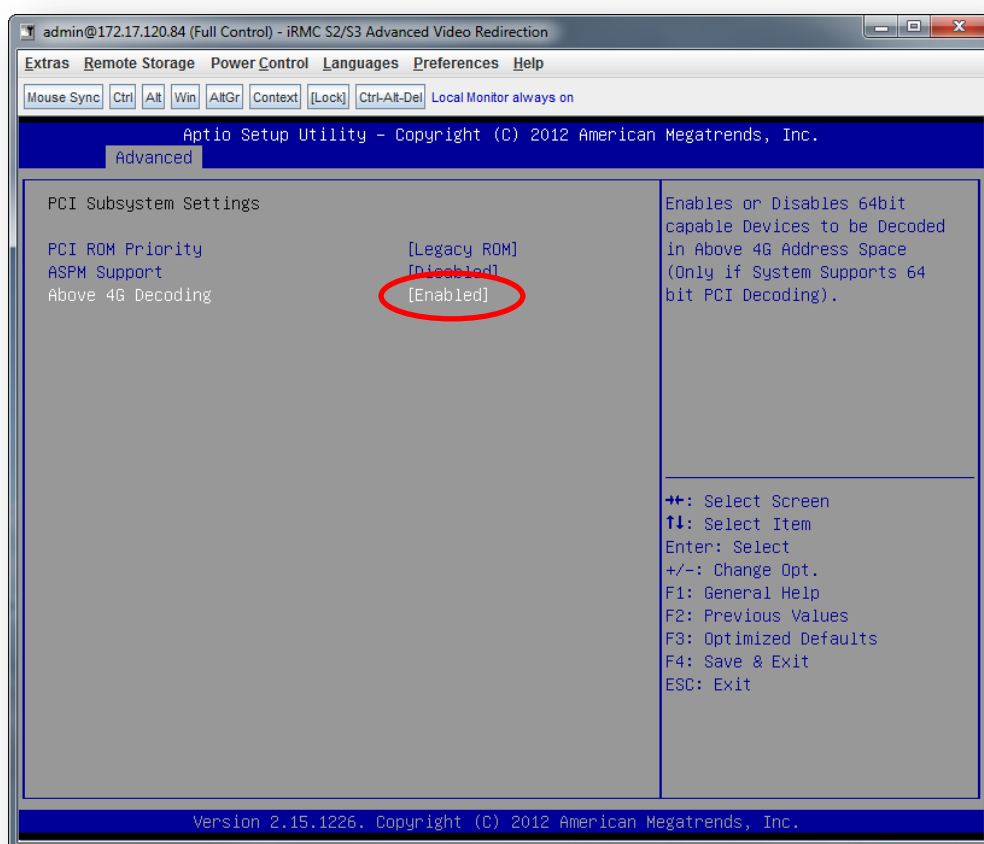


- ここでこの値を「*Enabled*」に変更します（矢印の部分参照）。これで Intel® Xeon Phi™ コプロセッサカードが有効になります。



「*Restore Defaults*」を使用してデフォルト値を読み込むと、BIOS エントリ「*Above 4G Decoding*」が「*Enabled*」から「*Disabled*」に戻りますのでご注意ください。

3. 4. 変更の確認



- 値が「*Enabled*」に変更されていることを確認します（円で囲んだ部分を参照）。
 - 変更された BIOS エントリは、「*Restore User Defaults*」を使用して復元できるように、「*Save as User Defaults*」を使用して保存します。
- これで、Intel® Xeon Phi™ コプロセッサカードを使用する準備が整いました。

4. 終了手順

- 「*Save and Exit*」を使用して BIOS セットアップを終了して変更されたエントリを維持し、サーバを起動します。これで、Intel® Xeon Phi™ コプロセッサカードを使用できます。



ファームウェアバージョンは、常に最新にしてください。最新バージョンは、Fujitsu サポート Web ページから取得できます。

- <http://ts.fujitsu.com/support/> (EMEA 市場向け)
- <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/> (日本市場向け)